

## 英国より輸入した大ヨークシャー種の産肉成績

誌名	千葉県畜産センター研究報告 = Bulletin of the Chiba Prefectural Livestock Experiment Station
ISSN	03865673
著者	鶴岡, 則夫 宮原, 強 松岡, 邦裕
巻/号	11号
掲載ページ	p. 113-114
発行年月	1987年10月

## 英国より輸入した大ヨークシャー種の産肉成績

鶴岡則夫・宮原 強・松岡邦裕・鈴木一好  
伊原和美・加藤良忠

### Performance of Meat Production of Large White Pigs imported from England.

Norio TSURUOKA, Tsuyoshi MIYAHARA, Kunihiro MATSUOKA,  
Kazuyoshi SUZUKI, Kazumi IHARA and Yoshitada KATO

千葉県では昭和60年9月英国より雄6頭、雌15頭の大ヨークシャー種(以下W種)を輸入した。県畜産センターで、生産、配布業務を実施している。W種は主として雌系雄豚として利用されるので、その産肉性は重要である。そこで、輸入W種産子豚41頭の産肉性を調査し、下記の成績を得た。

4. 豚 房 1.2m×2.7mの豚房に1.2m×9.0mのコンクリート運動場付きで、2頭群飼
5. 飼 料 豚産肉能力検定用飼料  
不断給飼 TDN 70.1%  
DCP 12.7%
6. 調査項目 90kg到達日齢、一日平均増体重、背脂肪の厚さ、ロース断面積、体尺測定等

#### 調 査 方 法

1. 調査期間 昭和61年2月24日から昭和61年11月17日
2. 調査対象豚 英国より輸入したW種の産子豚雄41頭
3. 調査方法 豚産肉能力検定直接検定に準ずる方法

表1 産子豚の産肉成績

90 kg 到達日齢	145.8 ± 14.7 日
一日平均増体重	815.1 ± 83.7 g
背脂肪の厚さ、体長½部位	1.63 ± 0.36cm
ロース断面積、体長½部位	33.01 ± 3.70cm <sup>2</sup>

表2 体尺測定値

(単位 cm)

区分	項目	体高	十字部高	前巾	胸巾	後巾	胸深	胸囲	体長
産子豚		62.3	68.9	30.7	27.3	29.5	33.1	99.2	110.5

#### 結 果

産肉成績については表1のとおりの結果であった。90kg到達日齢は145.8日と、W種としては、比較的早い到達日齢であった。

一日平均増体重は、815.1gであり、我国で系統造成中のW種と比較しても、本調査豚は優れていた。

背脂肪の厚さ(体長1/2部位)は、1.63cmであり、比較的厚い傾向であった。

ロース断面積(体長1/2部位)は、33.01cm<sup>2</sup>であり、かなりの好成績であった。

90kg時点での体尺測定値は表2のとおりであった。体高はやや低く、体長はやや短く、前軀が太く充実してい

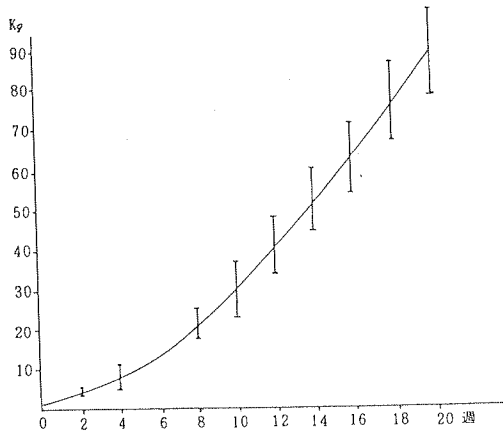


図1 産子豚の発育曲線

る反面、後軀がやや充実不足であった。

図1に発育曲線を示した。生時体重は1.43kg、4週齢(離乳時)では7.63kgであり、30kg到達日齢は70.1日で、30.91kgであった。20週齢で88.86kgであった。発育が早いので、運動不足による過肥、肢蹄障害に十分注意する必要があると、思われた。